

箕面船場はきっと面白いまちになる

- ① 2021年4月9日オープン
大阪大学3階学生食堂
「カフェテリア レインボー」
感染症対策時短営業中
月～金の13時00分～14時00分
なお、4月中は学舎東側階段からの
通行経路のみとなります
- ② 2021年5月1日
船場図書館
・生涯学習センター開館
2階メインデッキと
大学3階前広場の利用開始
学生寮1階 生鮮スーパーマーケット
オープン予定
- ③ 2021年8月1日
箕面市文化芸術劇場オープン
- 2022年4月
船場東～船場西 423号線を跨ぐ
歩行者専用デッキが完成
- 2023(令和5)年度内
北大阪急行電鉄延伸
「箕面船場阪大前駅」開業
- ④ 2022年～2024年
民間住宅新築完成



図：2階デッキでつながる新しい施設

新たな出会いを楽しみにしています♪

萱野小校区こども会（当協議会関連団体支援事業）

一昨年9月に募集活動を開始したこども会も、昨年2月から感染症対策により活動を停止しておりました。昨夏7月から完全に「こども会活動」を開始、ドッジ練習会・公園清掃・映画鑑賞会・歳末の夜回り・遠足等々を実施。会員17名と保護者は、開学での新しい出会いと夏まつりを楽しみにしています。

こども会員募集中です。お問い合わせ・お申し込みは、当協議会事務局 南里（なんり）まで。

資料提供 国立大学法人 大阪大学
協力



発行 箕面船場まちづくり協議会
URL: <https://minohsemba.ehoh.net/>
事務局 〒562-0035 箕面市船場東1-8-51-302
tel: 090-3165-7356 (担当: 南里)
E-mail: minohsemba@gmail.com

一緒に！

この街のエリアマネジメント（まちづくりワーク）にご参加ください。右記、事務局まで。ご連絡をお待ちしております。

2021 このまちの歴史が動く
4.1 We have the overture for new our history now.

大阪大学 新箕面キャンパス（外国学研究講義棟など）が開校

移転新設工事が進められていた新箕面キャンパスが昨年12月に完成。4月1日、洋々たる希望に満ちての開校となりました。

外国語学部・言語文化研究科は、世界の主な25言語にもおよぶ多様な研究カリキュラムをもち、国際社会で活躍する有能な人材を育成しています。日本語日本文化教育センターでは、世界各国からの要請による国費留学生をも受け入れ、日本語と日本文化の発信にも多大な貢献を果たしています。



大阪大学外国学研究講義棟（全景写真は大阪大学提供）

開かれた大学

街との境目を持たないキャンパスには、この地域で生活を営む人たちの誰でもが利用できる学生食堂や、萱野南図書館蔵

書に外国学図書館蔵書を合わせて71万冊にもおよぶ北摂屈指の船場図書館（本年5月オープン）等も広がります。自由な校風からは外国人留学生との有意義なコミュニケーションの機会も数多

く期待されます。新しい街の理想型を求めてさらに前進し、国際色豊かな文化の重なりへの調和を意図するこのまち。「箕面船場はきっと面白いまちになる」ことでしょう。



学生の伝統行事
夏まつりと語劇祭

学生主体で開催する歴史ある祭典も、今年は新キャンパスでの限られたスペースや感染症対策などの制約下で、7月10・11日の両日を予定しています。

世界各国の風情が味わえる賑やかなイベント「箕面国際フェスティバル」として、箕面船場での新しい祭りの開催に向け、当協議会や地域企業とも協議を進めています。

メインデッキは
5月に接続

4月中はキャンパス中央の階段から、学舎3階南側のオープンスペースに繋がります。

5月にメインデッキ（階下の地上1階は第一駐輪場）が接続すると、共通した広場として活用できます。



箕面の山なみと箕面船場 2021年3月17日撮影

『大学のあるまち』の新しい息吹

— 2021年4月1日 大阪大学 新箕面キャンパスがオープン —

箕面船場が産声を上げてから約半世紀、待望の北大阪急行電鉄の延伸工事がようやく着工する前の平成27年6月、大阪大学外国語学部が栗生間谷から箕面船場への移転を発表。外観からもご承知の通り、キャンパスの内外との間に境界のない「地域あつての大学」として、新たに発進することとなりました。

ステージは MINOH から世界へ

—大阪大学外国語学部・言語文化研究科：OUグローバルキャンパス—

大阪大学外国語学部は、前身の大阪外国語大学創立100年の歴史ある語圏学と地域研究をそのまま引き継ぎ、学生の多くが留学を志望。海外の生活を経験し、グローバル化が進むわが国の社会において活躍する人材を輩出してきました。言語を基底とする地域研究を行う中で培われた表現力は、栗生間谷地区の住民や、国際交流センター等でも発揮されて、住民や留学生に良好なコミュニティーの場を醸成してきました。この自由闊達なスクールカラーが学生主導のユニークな行事「語劇祭」や「夏まつり」を生んだのでしょうか。今年からは箕面船場での新しい試みが始まります。

大阪大学外国語学部・言語文化研究科
日本語日本文化教育センター
カフェテリア レインボー



大阪大学外国語学部・言語文化研究科
日本語日本文化教育センター
カフェテリア レインボー

グローバルビレッジ箕面船場

船場図書館

英語が通じて、わかり合えたときの喜びは、大きかったわ。『おしゃべり』が、25の言語で展開されるって、おもしろそう。

国費留学生を受け入れる施設も

—日本語日本文化教育センター：OUグローバルキャンパス—

学舎にはまた、それぞれの本国で優秀・有能と認められた文部科学省国費外国人留学生に、日本語と日本文化を教える施設もあります。ここは、全国の高等教育機関への進学前の日本語と日本文化に関する予備教育、さらに国費日本語・日本文化研修留学生教育を担当しており、世界の日本語と日本文化教育の充実発展に寄与する目的で設置されています。

優秀な国費留学生と町でばったり、その人が後には本国の大臣だったりして…、一言二言交わしたら自慢になるかな？



国際感覚が豊かになり、改めて日本人としての認識も深まりそうじゃ。伝え合い・関わり合い・分かち合いの良好な付き合いができるのはうれしいし健康にも役立つように思う。長生きはするもんじゃなあ。

国際色豊かに友好の輪を結ぶ

—グローバルビレッジ箕面船場

<学生寮>—

留学生を受け入れる大阪大学では、学生寮も東側に併設されました。学問研究に勤しむ中、留学中のひとときを箕面船場で生活を共にすることとなり、お互いにより影響を与え合い、支え合える新しい環境が期待できます。

71万冊の蔵書 —船場図書館—

大阪大学外国語学図書館と箕面市立萱野南図書館の蔵書が集結、新しい図書館は5月に開館。

学生食堂も利用できます♪

多言語なお話もはずむ？

開放的なコミュニケーションの場

—大阪大学 カフェテリア レインボー—

この度、3階に新設される学生食堂も、あらゆる人が利用可能です。もちろん留学生も訪れることでしょう。カフェテリア方式の食堂は、座席数300席、豊富なメニューと言語の豊かな文化の環境となりそうです。

現在、新型コロナウイルス感染症対策で、

一般利用は4月9日からの月～金、13:00～14:00です。

※事態の終息後、営業時間は延長される予定です。



お母さんにランチをおねだりしちゃうって、外国のことと会うのも楽しみ。うまくお友達になれるかな。